

環 境 報 告 書

令和6年 10月報告

ふりがな	かわくぼけんせつかぶしきがいしゃ			認定 ランク	★★★
事業所名	川窪建設株式会社				
概 要	所 在 地	松本市桐三丁目 1 番 1 4 号			
	代 表 者 名	代表取締役 川窪 勇起男			
	事業規模 (主な事業内容 ・従業員数)	総合建設業（建築、土木、大工、とび・土工、屋根、管、舗装、 防水、水道施設、解体） 従業員 8 名			
	担 当 者	所属	総務課	氏名	佐藤
	連 絡 先	電話	0263-34-1010	FAX	0263-33-7049

○ 環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	基本理念 川窪建設株式会社は建設業を通して地域社会、すなわち地球環境への責任を理解し、学習し、貢献することの大切さを真摯に受け止めます。社員一人一人が環境問題を意識し、環境負荷の軽減に努めます。
環境に関する取組目標	1. 二酸化炭素排出量の削減。 2. 産業廃棄物の再使用・再生利用。 3. 水資源の削減。 4. 環境に配慮した材料の使用推進。 5. 環境に配慮した施工の取組、提案。 6. 化学物質の適正管理。 環境関連法規制等を遵守し、全従業員に周知すると共に協力会社にも協力を呼びかけます。 EA21 を通じて環境経営の継続的改善を進めて SDG s の目標に貢献します。
具体的な取組内容	別紙「A 環境活動内容」を参照願います。
実施結果（成果）	別紙「B 環境活動結果と目標」を参照願います。
課題・問題点とその改善に向けた取組み	《評価と見直し》 昨年度の目標にしていた「全体的に（会社+全ての現場）二酸化炭素の排出

	量の削減を目指します。」を達成できました。現場での電気・灯油・軽油の削減ができたおかげで、目標以上の成果につながりました。 現場での作業に支障なく、その上削減できることは大変評価できる点です。引き続き使用量の削減努力を習慣化し、モチベーションアップにつながればと考えます。 協力会社の方々の意識向上と努力に感謝し、引き続きご協力して頂くことを希望します。 《次年度に向けて》 今期に引き続き二酸化炭素排出量の削減を目標に、“自主的に考え、活動できる”を目標に努力して頂きたい。 環境活動においては暖房・冷房の設定温度とクールビズ・ウォームビズとマニフェスト管理は10年以上の活動で既に身に付いていると感じますので、新たに下記2点を追加します。 ・退社30分前にはエアコンをOFFにする。 ・夏は窓を開けて風を通し、温度を下げてからエアコンをつける。 環境管理責任者 川窪 勇起男
その他、 アピールポイント等	別紙「C 環境活動の様子」を参照願います。

A. 環境活動内容 (R5.6.1~R6.5.31)

評価 ○：よくできている △：一部できている X：できていない

取組項目	目標値	活動内容	責任者	活動期間	活動の確認(3ヶ月ごと)			
		社 内			6-8	9-11	12-2	3-5
二酸化炭素排出量削減 電気使用量の削減	8,877 (Kwh)	* 暖房18° ~20° ウォーミング*冷房26° ~28° クーリング	事務局(佐藤)	上記1年間	○	○	○	○
		* PCをつけっぱなしにしない。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	△	○
		* こまめに消灯。(昼休みは食事する部屋以外消灯)	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	○
		* 温度管理・チェックをこまめにする。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	△
一般廃棄物の削減	246.82 (Kg)	* 両面コピー、裏紙の使用をする。	事務局(桜井)	上記1年間	△	○	○	△
		* 電子媒体を使い紙の削減をする。PC共有機能の活用。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	△
		* ミスプリを減らす為プレビュー画面でチェックする。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	△	○	△
水の削減	監視	* 水の出を細めにする。	事務局(佐藤)	上記1年間	○	○	○	○
活動期間		評 価	対応策					
6月~8月		入札、竣工書類作成等、全社員が現場から会社に戻り書類作成業務をこなす為、気を配ることをおろそかになりがちであった。	お互いに注意喚起をする。					
9月~11月		入札が落ち着き現場も始まり現場・社内共に落ち着いた時期に入り、確認等できるようになりました。	意識向上に努める。活動が身に着くように心がける。					
12月~2月		良くできた期間でした。	意識向上に努める。					
3月~5月		この期間も書類作成 図面作成が多く、PCの電源を切らずにいることが多くなりがちです。	意識向上に努める。					

取組項目		目標値	現 場	責任者	活動期間	活動の確認(3ヶ月ごと)			
二酸化炭素排出量削減	電気	14,449 (Kwh)	* PCをつけっぱなしにしない。	各代理人	上記1年間	△	△	○	—
			* こまめに消灯。 事務所を空ける時は消灯。	各代理人	上記1年間	△	△	○	—
	ガソリン	3,964 (L)	* 現場までの移動距離を短く。	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
			* こまめにエンジンを切る。	各代理人	上記1年間	○	△	○	—
			* 無駄な荷物を乗せたまま車を走らせない。	各代理人	上記1年間	△	△	△	—
			* タイヤ空気圧等点検を行う。	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
	灯油	1,433 (L)	* 冬は養生をしっかりと削減に努める	各代理人	上記1年間	—	—	○	—
水の削減		監視	* 水の出・止をこまめにする。	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
産業再資源化 適正管理		136.8 (t)	* マニフェストの管理。	各代理人	工事期間中	○	○	○	—
			* 資材は少なめに入れて調整する。	各代理人	工事期間中	○	○	○	—
協力会社への教育			* 新規入場者教育の資料作成と教育実施。 * 共同作業のお願い。 * 緊急事態想定訓練 (年1回)	各代理人	発生時	○	○	○	—
工事現場の環境配慮			* 化学物質取扱いの注意指導 6件 (R6.7月現在) * 現場までの乗り合い、最短距離の提案 5件 (R6.7月現在) * 資材の搬入時に不要梱包をなくすことを提案 6件 (R6.7月現在)	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
活動期間			評 価	対応策					
6月～8月			現場が始まり現場事務所、休憩室の出入りする人が多く、管理が不十分でした。	注意喚起を多く行う。					
9月～11月			現場の繁忙期となり意識が薄れがちになった。作業員への指導を徹底する。	意識向上に努める。					
12月～2月			現場が落ち着き人の出入りも減り始める。あらためて活動内容に注意を向けられた。	引き続き活動内容に意識を向ける。					
3月～5月			— (現場無し)	—					

* 環境関連法規の遵守状況の確認。	環境管理責任者	上記1年間	○	○	○	○
* 環境教育の実施・取組状況の確認。	各代理人	上記1年間	○	○	○	○
* エコアクション21推進委員会 年に4回	事務局(佐藤)	4回/年	○	○	○	○

B. 環境活動結果と目標 (R5.6.1~R6.5.31)

社 内	R5 年		評価			R 6年	R 7年	R 8年	R 9年
	目標値	実績	目標値比%		基準値	目標 基準値-0.5%	目標 基準値-1%	目標 基準値-2%	目標 基準値-3%
電力 (Kwh)	8,877	9,155	3.1	X	9,332	9,285	9,238	9,145	9,052
一般廃棄物 (Kg)	246.82	272.18	使用量の把握						
水道水(m³)	—	57.3	監 視						
CO2 排出量合計 (kg-CO ₂ /kWh)	4,261	3,497	-17.9	○	4,150	4,129	4,108	4,067	4,025

現 場	R 5 年		評価			R 6 年	R 7 年	R 8 年	R 9 年
	目標値	実績	目標値比%		基準値	目標 基準値-0.5%	目標 基準値-1%	目標 基準値-2%	目標 基準値-3%
電力(Kwh)	14,449	13,195	-8.6	○	9,437	9,389	9,342	9,248	9,153
ガソリン(L)	3,964	6,365	60.5	X	7,071	7,035	7,000	6,929	6,858
軽油(L)	603	196	-67.4	○	559	556	553	547	542
灯油(L)	1,433	435	-69.6	○	335	333	331	328	324
水道水(m)	—	24.87	監 視						
産業廃棄物 再資源化量(t) 再資源化率(%)	136.81 (63.7%)	202.75 (67.24%)	48.19 (+5.55%)	× ○	R5 実績 202.75 (67.24%)	R6 年目標 201.73 (67.57%)	前年実績 -0.5% +0.5%	前年実績 -0.5% +0.5%	前年実績 -0.5% +0.5%
CO2 排出量合計 (kg-CO ₂ /kWh)	25,828	21,395	-17.1	○	22,877	22,762	22,648	22,419	22,190

CO2 排出量総合計 (会社+現場)	30,086	24,893	-17.2	○	27,026	26,890	26,755	26,485	26,215
-----------------------	--------	--------	-------	---	--------	--------	--------	--------	--------

グリーン購入	グリーン購入拡大（エコマークがあるものを積極的に購入する。）
化学物質	適正管理（直接の取り扱いはないが、扱う業者に適正管理を指示する。）

※新基準値 R2、R3、R4 の3年間の平均値。

※中部電力調整後排出係数 R4 年度実績 排出係数 0.382 (k-CO₂/kWh)

C. 環境活動の様子

※令和5年6月～令和6年5月までの活動

〈現場での活動〉

現場でのごみ拾い活動の様子（R5.10.12）



現場での灯油漏れ訓練の様子（R5.10.12）



環境活動への理解を深めて頂くためのエコクイズ開催（R5.10.12）



（第2問）地球温暖化に対して、どのような事が必要だと思いますか？ あてはまるものをすべて選んでください。

- ① 特に何もする必要は無い。
- ② 温室効果ガスの排出を減らしていく。
- ③ 地球温暖化が進んでも安全に生活できるように工夫する。
- ④ 海や川に落ちているごみを集めて埋める。

このようなクイズを 10 問出します。
平均 5 問～6 問程の正解率です。

現場での環境活動への呼びかけの様子



〈現場以外での活動〉

松くい虫により倒木を薪にする体験会に参加(四賀林研との活動) (R6.2.25)



四賀地区環境づくり協議会

協議会だより

Vol.28
2024.2.1発行
発行所:四賀地区環境づくり協議会
発行:四賀地区環境づくり協議会

**枯れた松を整理して
四賀の山をきれいにします!**

四賀のあちこちで枯れている松が倒れ、地域のイメージ悪化だけでなく、森林の整備や林業・登山道の利用を阻害しています。四賀の山をきれいにするため、四賀林研グループが中心となり、枯れ松の整理活動を行います。

**松を薪にして環境美化・景観向上
エネルギーの地産地消が可能です**

「松は薪が多くて薪ストーブに最適です」というイメージをお持ちの方も多いのでは?ところが松の伐採状況によって、きちんと薪として活用すれば、金く銭儲けの地産地消が可能です。エネルギー自給率の向上にも貢献します。山に落ちた松を薪として活用すれば、四賀の山をきれいになります。

**薪割り&炭焼き体験
松薪の無料配布会**

自然との共生を目指して薪ストーブや薪炭をたいせいの人も大勢います。薪割りや炭焼き体験による地産地消などの体験会を開催します。松の薪割り体験も行う予定です。薪割り体験は無料です。薪割り体験は無料です。薪割り体験は無料です。

日程: 2月25日(日) 10:00~12:00
会場: 松山山荘 別館 奥山荘 西側駐車場
(松本市大沢756)
料金: 無料 (竹炭の炭焼きがあります)
問合せ: 090-8853-3661 (藤原)

会田中学校 松枯れ材の薪割り・炭焼き体験を行う(四賀林研との活動) (R5.11.16)

使用済み切手を「緑の地球防衛基金」へ寄付しました。植林活動に使われます。(R5.7.5掲載)

拡大

緑の地球防衛基金に寄付した切手の額(円)は、約100万円に達しました。この切金は、植林活動に使われます。

同法人・団体協力者
(3月16日~6月15日敬称略)

①愛知県社会福祉協議会、(株)葵商店
②青森県社会福祉協議会、(株)朝日工業社、安藤産業、(株)生駒市社会福祉協議会、(株)エヌエーシー、(株)太田組、(株)興村組、カクエー、(株)山田組、(株)北島市社会福祉協議会、(株)川崎製作所、(株)北島市社会福祉協議会、共和食品、(株)グノール、三洋テクノマリン、(株)シーキープ、清水建設、(株)名古屋支店、日都高速道路、新光電気工業、(株)長の家白馬会東



会社回りのゴミ拾い (R5.6.1)



段ボール・新聞・両面使用済みの紙をリサイクル業者への持ち込み(通年)

